

ラウンドテーブル 13:00-15:00 会場-2 1号館 1401 教室

電子ピアノ・ICTを使う音楽教育の将来像を追求する-Ⅱ —ブレンストーミングを通して授業内容を探る—

電子ピアノ・ICT部会

本部会はICTの時代における電子ピアノの将来を見据え、今年度より従来のML部会から「電子ピアノ・ICT部会」へ名称を変更しました。これにより部会の活動領域は電子ピアノと他の分野との協同や融合へ可能性が広がります。今後、ICT環境における電子ピアノの実験的な試みや取り組みを歓迎します。今回のラウンドテーブルを通して議論が深まることにより将来の可能性が期待されると思います。

前回の第13回大会から3年かけて標記の「電子ピアノ・ICTを使う音楽教育の将来像を追求する」をテーマとします。各回のサブテーマについて、昨年は「多様化した授業内容の実態把握を通して」とし、本日は「ブレンストーミングを通して授業内容を探る」、来年は「具体的な方法論のまとめと発信を通して」を設定します。

本日まで参加される皆様には、発表者の話題提供を受けて活発にコメントをいただき、全員参加によるラウンドテーブルになることを期待しています。

話題提供者：井上 洋一（愛媛大学）
赤津 裕子（竹早教員保育士養成所）
鈴木 泰山（株式会社ピコラボ）
ファシリテーター：田中 功一（立教女学院短期大学）
書 記：小倉 隆一郎（文教大学）

<進 行>

1. 開会（5分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・田中 功一
2. 話題提供者自己紹介（各5分）・・・・・・・・・・・・・・・・各発表者
3. 話題提供者スピーチ（各15分）&意見交換（各10分）・・・・・・
 - SMLシステムを活用した音楽初学者のための音楽理論学習と演習・・・・井上 洋一
 - 保育者に求められる音楽的専門性とMLシステム活用について・・・・赤津 裕子
 - ICTを活用したピアノ教育支援システムの構築について・・・・鈴木 泰山
4. まとめ&意見交換（25分）・・・・・・・・・・・・・・・・田中 功一

話題提供者ご紹介

井上 洋一（愛媛大学）

愛媛大学教育学部特音課程卒業、兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了。中学校教諭として電子楽器の活用や創作指導に重点をおいた実践研究を行った後、現在は、愛媛大学教育学部および教育部研究科において「音楽理論・作曲法」「音楽デザイン」「音楽科教育法」等の科目を担当。ICTを活用した音楽教育についての研究の他、指揮、作曲活動も行っている。2017年開催の第72回国民体育大会では、入場行進曲、炬火関連曲の作曲を担当した。

赤津 裕子（竹早教員保育士養成所）

竹早教員保育士養成所専任教員。日本女子大学家政学部児童学科講師。

東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻修士課程修了（教育学修士）。主たる研究テーマは、保育者に求められる専門性の育成について、その内容と方法である。幼稚園の園内研修の講師として、子どもの表現やカリキュラムマネジメントに携わり、地域の子育て支援においては、乳幼児を対象に児童文化伝承の視点から音楽的な場の提供を行っている。養成校では「幼児音楽」「音楽表現」等の科目を担当。平成7年度より導入しているMLシステムを活用し、ピアノ初心者のためのカリキュラムを開発し、現在は、実践の場で求められる音楽的な応用力に着目し、アンサンブルやアレンジの授業を行っている。

鈴木 泰山（株式会社ピコラボ）

株式会社ピコラボ 取締役 知識情報処理事業部長

東京工業大学情報理工学研究科博士後期課程修了。在学時より音楽情報科学分野の研究に従事し、自動伴奏システムの研究・開発やコンピュータに自然なピアノ演奏を生成させる研究に取り組む。現在は音楽情報処理、教育工学、音声言語処理、時空間情報処理などの分野を中心に、ICTを活用した研究・開発の支援を行っている。音楽教育分野では、ピアノ初学者向けの学習支援を目的とした「ピアノ演奏見える化システム VSPP」の開発に取り組んでいる。ICTを応用した音楽教育支援の可能性について、エンジニアの立場から紹介する。